

一般社団法人長野県農業会議 第80回常設審議委員会の概要

令和4年11月15日（火）に長野市「JA長野県ビル」において、第80回常設審議委員会を開催しました。

審議結果等の概要は次のとおりです。

記

1 農地法等に基づく審議

(1) 第1号議案、第2号議案（資料②）

農地法第5条の規定に基づく農業委員会からの意見聴取案件について審議した結果、営農型太陽光発電施設の案件1件（駒ヶ根市・南天）を含むすべての案件について「許可相当」として意見回答することを決定しました。

2 協議

(1) 第7回長野県農業委員会大会について（資料④）

(2) 令和4年度全国農業委員会会長代表者集会の対応について（資料⑤）

※原案どおり了承されました。

3 出席者及び配布資料 別紙のとおり

（一社）長野県農業会議 総務・情報部

（参事兼部長）中島健貴 （部長代理）山際義人

電話：026（217）0291

FAX：026（219）2953

Eメール：nagano-kaigi@nca.or.jp

一般社団法人長野県農業会議 第80回常設審議委員会 出席者名簿

期日 2022/11/15
場所 JA長野県ビル12A

■常設審議委員 在籍者29人、出席者26人

○印は出席者

		氏 名				
正副会長	23 (会 長) 望月 雄内	1 (副会長) 市川 覚	○	8 (副会長) 田中 悦郎	○	
	2 小山田 武	○	3 伊藤 利孝	○	4 小島 幸夫	○
常設審議委員	5 有馬 久雄	○	6 高田 清人	○	7 織田 晴久	○
	9 中島 完二	○	10 伊藤 宏昭	○	11 保木野 幸雄	○
	12 勝山 信久	○	13 青木 保	○	14 佐野 啓明	○
	15 松永 晋一	○	16 神農 佳人	○	17 中村 光男	○
	18 千國 茂	○	19 宮澤 清志	○	20 北原 富裕	○
	21 所 弘志	○	22 武重 正史	○	24 寫田 武司	
	25 柳田 清二	○	26 高林 敬子	○	27 沼田 浩子	○
	28 小林 文彦		29 伊藤 洋人	○		
県等	<ul style="list-style-type: none"> ・県農政部農業政策課:安藤忠幸 課長補佐兼農業団体・共済係長、小市晃農地調整係長、上條真依 主事 ・駒ヶ根市農業委員会 出口大悟主査 					
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県農業会議 :伊藤洋人 専務理事兼事務局長(前掲)、中島健貴 参事兼部長、小林佳昭部長、神林公雄 部長、山際義人 部長代理、土屋剛志 次長、森住浩光 審議役、松田美夏 係長、北沢省吾農地相談員、峯村宏職員、倉田幸代囑託 					

一般社団法人長野県農業会議 第80回常設審議委員会次第

日 時：令和4年11月15日(火) 13:30～
場 所：長野市「JA長野県ビル 12B会議室」

1 開 会

2 挨拶

3 会務報告

4 議長就任

5 議事録署名人指名

6 審 議

第1号議案
農地法第5条の規定による意見回答について

第2号議案
農地法の規定による営農型太陽光発電施設に係る意見回答について
(駒ヶ根市・5条・南天)

7 協 議

(1)第7回長野県農業委員会大会について

(2)令和4年度全国農業委員会会長代表者集会の対応について

8 その他

次回の開催日時 12月15日(木) 13:30～ JAビル12A

9 議長退任

10 閉 会

主 要 会 務 報 告

(令和4年10月14日開催の常設審議委員会以降)

1 主催会議

(1) 総務・情報部関係

10月14日	第79回常設審議委員会	(長野市)
10月19日	全国農業新聞PR活動	(東御市)
10月20日 ～21日	農業委員会巡回相談会(駒ヶ根市、南箕輪村、売木村、阿南町、大鹿村)	
10月24日	全国農業新聞普及巡回(下條村、泰阜村、天龍村、南木曾町、木曾町、木祖村)	
10月25日	農業委員会巡回相談会	(富士見町)

(2) 農政・農地部関係

10月19日	「地域計画」の策定に関する農業委員会の役割の説明会	(Web)
11月10日	地区常設審議委員会	(伊那市、安曇野市、長野市)
11月10日	農地利用最適化に係る月次情報交換会議	(伊那市、安曇野市、長野市)
11月11日	地区常設審議委員会	(小諸市)
11月11日	農地利用最適化に係る月次情報交換会議	(小諸市)

(3) 担い手・経営・年金部関係

10月17日	「農の雇用事業等」現地確認調査	(中信3経営体)
10月19日	「農の雇用事業等」現地確認調査	(中南信4経営体)
10月21日	「農の雇用事業等」現地確認調査	(北信3経営体)
10月24日	上田支部農業者年金加入推進対策会議	(上田市)
10月25日	「農の雇用事業等」現地確認調査	(東北信2経営体)
10月26日	北アルプス支部農業者年金加入推進対策会議	(Web)
10月28日	「農の雇用事業等」現地確認調査	(北信1経営体)
11月2日	「農の雇用事業等」現地確認調査	(北信5経営体)
11月2日	松本支部農業者年金加入推進対策会議	(Web)
11月4日	諏訪支部農業者年金加入推進対策会議	(Web)
11月7日	木曾支部農業者年金加入推進対策会議	(Web)
11月8日	「雇用就農者実践研修支援事業等」現地確認調査	(中信2経営体)
11月11日	「農の雇用事業等」現地確認調査	(南信6経営体)
11月14日	上伊那支部農業者年金加入推進対策会議	(Web)
11月15日	「農の雇用事業等」現地確認調査	(東信5経営体)

2 組織関連の会議

10月17日	上伊那事務研究会	
10月18日	全国農業会議所 拡大「農政対策検討委員会」	
10月18日	東海4県・県農業法人経営情報交流会	
10月18日	南信州農業委員会協議会農業事情視察研修	
10月19日	eMUF F 地図への農地情報紐づけに関する説明会	
10月21日	農業委員会職員全国研究会	

10月21日	県農業法人協会北信ブロック情報交換会
10月26日	三市町村(茅野市・富士見町・原村)農業委員会交流会
10月27日	都道府県農業会議職員農政・農地専門地区別会議(中日本ブロック)
10月31日	関東ブロック別農業者年金業務担当者会議
10月31日	県農業再生協議会担い手・農地部会事務局員会議
11月7日	箕輪町農業委員会農業者年金研修会
11月8日	南箕輪村農業委員会農業者年金加入推進研修会
11月9日	農業者年金基金考査指導(伊那市)
11月10日	農業者年金基金考査指導(飯田市・松川町)
11月10日	全国農業会議所理事会、農政対策委員会、農地・組織制度対策委員会(地方役員)合同会議
11月11日	農業者年金基金特別考査指導(御代田町)
11月14日	基盤法等の一部改正に係る通知に関する説明会(Web)

3 その他の会議

10月18日	県農村生活マイスター認定会議
10月26日	JAビル秋季消防訓練
11月10日	県農村女性マイスター協会30周年記念式典
11月10日	県園芸特産振興展鉢花類コンクール

青木村農業委員長 様

長野県農業委員会ネットワーク機構
一般社団法人長野県農業会議
会長 望月 雄内

農地法第5条の規定による意見回答について

令和4年9月30日付4青農委第13号で依頼のありましたこのことについて、令和4年10月14日に開催しました第79回常設審議委員会において審議した結果、下記のとおりとしました。

記

1 農地法第5条2番 許可相当

「支柱を立てて営農を継続する太陽光発電設備等についての農地転用許可制度上の取扱いについて（平成30年5月15日3農振第78号・最終改正令和3年6月14日3農振第714号）」（以下、国通知という。）に基づき、一時転用許可を受けた者に対し、営農の適切な継続の判断のため、毎年農業委員会へ出荷量を証する書面等を添付した「営農型発電設備の下部の農地における農作物の状況報告書」の提出と営農計画書の進捗状況等の説明について指導願います。

また、国通知に基づき農地パトロール等の際に定期的に生育状況等を確認し、営農の適切な継続が確認されていないと判断される場合には、必要な指導助言を行うとともに、県に報告されるよう願います。

また、県におかれましては、転用期間中の営農の適切な継続が図られるよう「営農型発電設備の下部地における営農の適切な継続」について指導を行っていただくとともに、期間終了後の次回更新許可申請時に、パネル下部における単収が地域の平均的な単収と比べ2割以上減少している場合は、更新を許可しないよう求めます。

担 当 農政・農地部

（部長）小林佳昭 （担当）森住浩光

TEL026-217-0291 FAX026-219-2953

E-mail 24nousei@nca.or.jp

農地法第5条第3項の規定による意見聴取件数・面積一覧表

(令和4年11月)

地区名 農業委員会名	市町村数	件数	面積 (m ²)		
			田	畑	計
東 信	2	2	0.00	10,469.00	10,469.00
川上村	1	1	0.00	4,516.00	4,516.00
上田市	1	1	0.00	5,953.00	5,953.00
南 信	5	6	20,037.40	15,883.21	35,920.61
富士見町	1	1	0.00	8,451.00	8,451.00
駒ヶ根市	1	2	13,370.40	0.21	13,370.61
箕輪町	1	1	3,787.00	0.00	3,787.00
飯島町	1	1	0.00	6,681.00	6,681.00
飯田市	1	1	2,880.00	751.00	3,631.00
中 信	2	3	3,358.00	15,107.00	18,465.00
安曇野市	1	1	3,358.00	0.00	3,358.00
大町市	1	2	0.00	15,107.00	15,107.00
北 信	2	2	3,433.00	4,646.00	8,079.00
長野市	1	1	3,433.00	0.00	3,433.00
千曲市	1	1	0.00	4,646.00	4,646.00
合 計	11	13	26,828.40	46,105.21	72,933.61

第7回農業委員会大会について

1 大会開催日時等

(1) 開催日時：令和4年11月16日（水） 13:00～16:00

(2) 場 所：松本市キッセイ文化ホール（大ホール）

(3) 内 容

① 開 会 (13:00～)

② 農業委員会憲章唱和

③ あいさつ

④ 表 彰

⑤ 来賓祝辞：阿部知事、高島副議長

⑥ 大会運営報告

⑦ 情勢報告：一社 全国農業会議所

⑧ 協 議：農地利用最適化の推進移管する要請決議（案）

⑨ 農地利用最適化活動に係る事例発表（3事例）

阿智村農業委員会、長野市農業委員会（2事例）

⑩ 先輩農業委員からのメッセージ

⑪ 大会宣言

⑫ 閉 会 (～15:57)

(4) 出席予定者

1,293人

2 運営委員会の開催について

(1) 対象者 長野県農業委員会協議会 会員（18名）

(2) 日 時 令和4年11月16日（水）午前11時30分から

(3) 開催場所 キッセイ文化ホール 2階 「楽屋8」

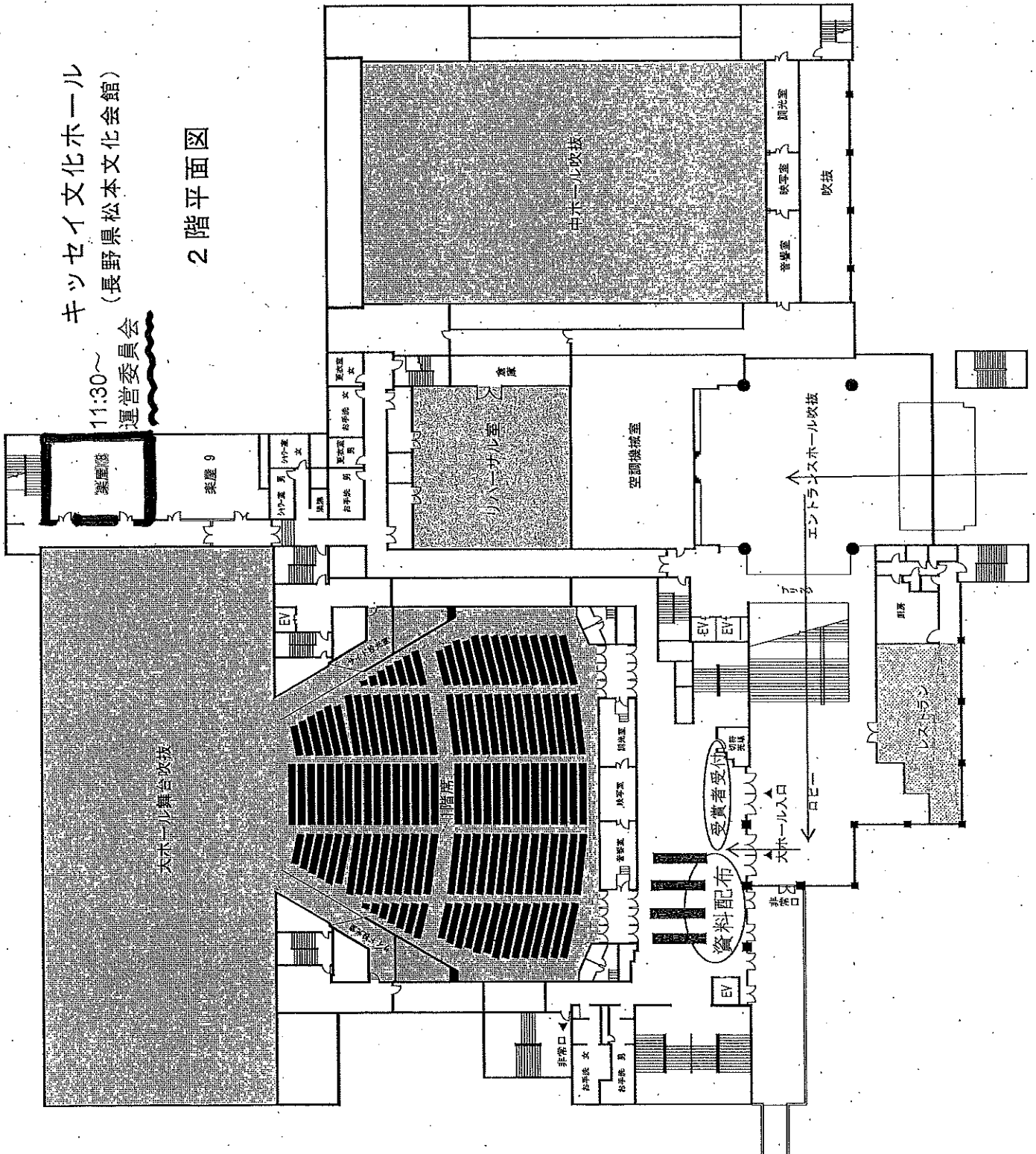
(4) 内 容

当日の大会開催に係る参集の打合せ等

キッセイ文化ホール
 (長野県松本文化会館)

11:30~
 運営委員会

2階平面図



大会宣言(案)

平成28年から取り組んできた農地利用の最適化活動の5年間の総括をもとに、私たち、農業委員、農地利用最適化推進委員は、4月から新たな目標を設定し、その活動を記録しながら、農地を守り、次の世代に継承していく最適化活動に全力で取り組んでいる。

しかし、この間、コロナ禍の影響が長期化する中で、ロシアによるウクライナ侵攻や急激な円安の影響等により、燃油・電気や、肥料・飼料などの農業資材の価格が高騰し、農業者の営農環境はこれまでにない厳しい状況となっており、私たちは、組織をあげて価格高騰に対する継続的な対策を国等に強く求めるとともに、持続的で、力強い地域農業を実現していくため、最適化活動を一層強化していく必要がある。

また、最適化活動を着実に推進していくためには、農業者の約半数を占める女性の「感性」や「視点」を取り入れていくことが重要であり、委員・推進委員への女性登用を一層進めていく必要がある。

このような状況の中、本日、第7回長野県農業委員会大会を4つのスローガンを掲げ開催し、日々の活動の中から意見を積み上げた「農地利用最適化の推進に関する要請」を決議するとともに、各地の仲間が、遊休農地の解消、担い手の確保、果樹園地の再生に取り組んだ事例を学んだ。

それぞれの取組に共通するものは、地域の農地・農業を守りたいという真摯な思い。そして、自分たちにできることは何かを真剣に考え、仲間とともに、一歩踏み出し、行動したことだ。

これらの取組から私たちは、「思いをいただき」、「考え」、「行動する」ことで、確実に地域を変えていくことができると確信した。

これから、それぞれの地元に戻り、新たな「地域計画」の策定に向け、これまでの人・農地プランの取組を土台に、地域での話し合いへの参加や目標地図の素案づくりのための意向把握など、様々な活動に取り組むことになるが、私たちの一つ一つの活動の積み重ねが、必ずや、地域農業の明るい未来の礎となっていくことを信じ、仲間とともに、一丸となって行動していくことを宣言する。

令和4年11月16日

第7回長野県農業委員会大会

令和4年度全国農業委員会会長代表者集会の対応について

1 開催日時・場所

- (1) 開催日 令和4年12月1日(木)
- (2) 時間 13時～15時
- (3) 場所 「銀座プロッサム中央会館」(東京都中央区銀座2-15-6)
- (4) 内容
 - ① 要請決議
第1号議案 令和5年度農業関係予算の確保等に関する要請決議(案)
 - ② 申し合わせ決議
第2号議案 「地域の農地を活かし、持続可能な農業・農村を創る全国運動」を推進するための申し合わせ決議(案)
第3号議案 「情報提供活動」の一層の強化に関する申し合わせ決議(案)
 - ③ 活動事例報告
 - 1) 「意向把握の結果を地図に反映し人・農地プランを作成」(仮題)
愛知県名古屋市農業委員会
 - 2) 「区域部会を通じて活動内容を総会で共有」(仮題)
秋田県秋田市農業委員会
 - 3) 「農業委員19人中6人が女性」(仮題)
徳島県小松島市農業委員会

2 出席者

20名(農業会議、農業委員会協議会、農業委員会、農業委員会協議会)

3 要請活動

- (1) 県選出国會議員への要請
農業会議正副会長、農業委員会協議会長及び専務理事の5名とする。
(望月会長、市川副会長、田中副会長、青木農業委員会協議会長、伊藤専務理事兼事務局長、事務局)
- (2) 衆参議員会館を訪ね、同集会要請決議及び第7回県農業委員会大会要請決議について、
県選出国會議員に対し要請活動を行う。
- (3) その他
要請活動計画は別途調整する。

銀座スロツサム

中央金館

《案内図》

〒104-0061
東京都中央区銀座2-15-6
tel: 03 (3542) 8585 (代)

《最寄りの交通機関》

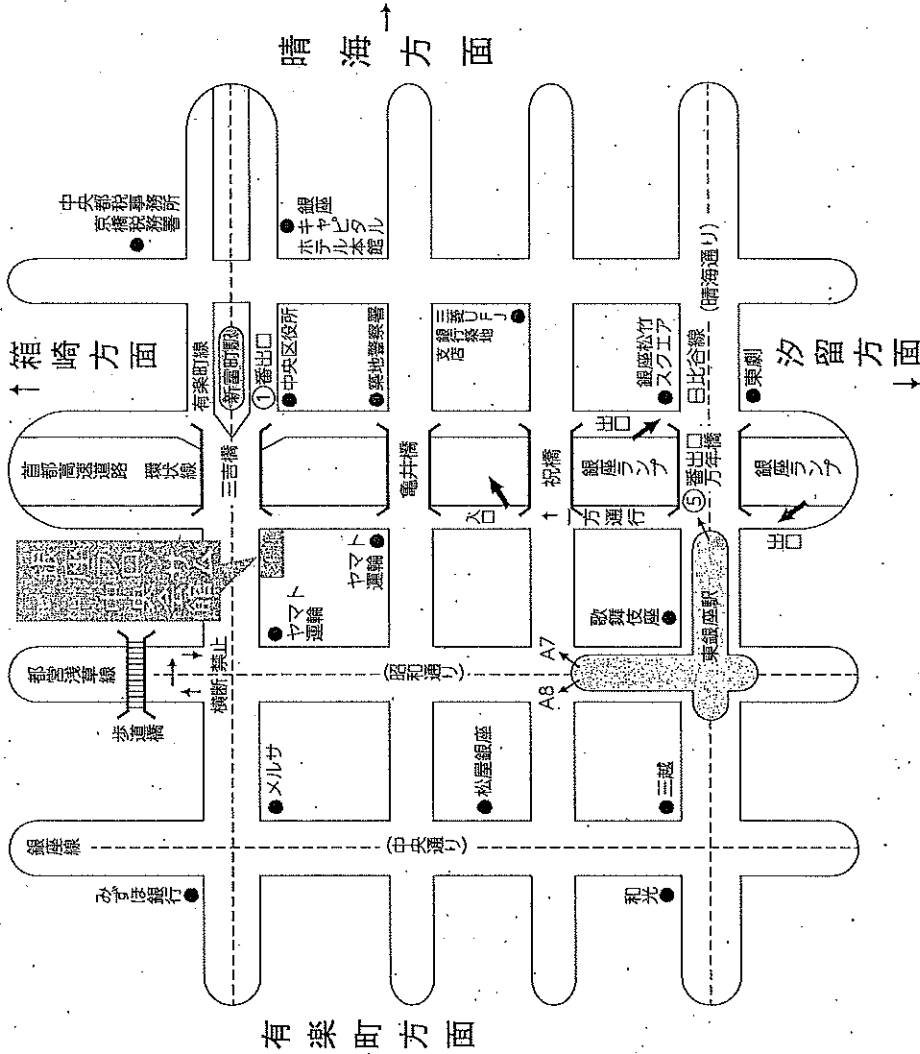
東京メトロ

- 有楽町線 新富町駅
- ①番出口 徒歩1分
- 日比谷線 東銀座駅
- ⑤番出口 徒歩8分

都営地下鉄

- 浅草線 東銀座駅
- ⑤番出口 徒歩8分

※車でのご来館は
駐車場が手狭なため
なるべくご遠慮ください。



令和4年度全国農業委員会会長代表者集会開催要領

令和4年10月
全国農業会議所

1. 開催の目的

農業委員会組織は、先の農業経営基盤強化促進法と農山漁村活性化法の改正により、地域の目標地図である地域計画（人・農地プラン）の策定に向け、「農地利用の最適化」をベースとした取り組みを積極的に推進していくこととなります。

また、農業委員会は地域の代表として、農地制度の適正な執行、認定農業者等意欲ある担い手の確保・育成、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進等、「農地利用の最適化」の実現に向けた取り組みを全力で進めていく必要があります。

このため、全国の農業委員会の会長代表者が一堂に会し、「地域の農地を活かし、持続可能な農業・農村を創る全国運動」をふまえ、農業委員会組織として農地利用の最適化への取り組みを点検するとともに、今後の取り組みを加速させるための研修を行うことを目的に、全国農業委員会会長代表者集会を開催します。

なお、今回の集会は、新型コロナウイルス感染対策（下記）を実施しながらの開催となりますので、ご留意願います。

2. 主 催：一般社団法人全国農業会議所

3. 参加者：農業委員会会長代表者並びに都道府県農業会議役職員等
約900人

4. 実施方法等：会場への参集による開催。会場参加の人数は原則、別紙のとおりとします。会場に来られない方への対応として、ライブ配信（後日視聴可）を実施予定です。

5. 期 日：令和4年12月1日（木）13時～15時00分
※決議と研修あわせて約90分とします。

6. 場 所：「銀座ブロッサム中央会館」（別添地図参照）

7. 日 程

(1) 開 会

(2) 主 催 者 挨 拶

(3) 来 賓 挨 拶

(4) 要請決議、申し合わせ決議、活動事例報告 (90 分)

①要請決議

第1号議案 令和5年度農業関係予算の確保等に関する要請決議(案・仮題)

②申し合わせ決議

第2号議案 「地域の農地を活かし、持続可能な農業・農村を創る全国運動」を推進するための申し合わせ決議(案)

第3号議案 「情報提供活動」の一層の強化に関する申し合わせ決議(案)

③活動事例報告

1) 「意向把握の結果を地図に反映し人・農地プランを作成」 (仮題)

報告：愛知県名古屋市農業委員会

2) 「区域部会を通じて活動内容を総会で共有」 (仮題)

報告：秋田県秋田市農業委員会

3) 「農業委員19人中6人が女性」 (仮題)

報告：徳島県小松島市農業委員会

(5) 閉 会

8. 運営委員会

運営委員会は、10月13日開催の都道府県農業会議会長会議で既に開催済み

9. その他

(1) 会場内での席は、主催より指定した座席とする。


(2) 来賓挨拶は、農林水産大臣、衆・参両院農林水産委員長等とする。

(3) 政府・国会への代表要請は、全国農業会議所の会長・役員を中心に行う。

(4) 各農業会議においても可能な範囲で地元選出の国会議員への要請活動を行う。なお、国会議員には本集会のご案内はしておりません。

(5) 会場参加者を限定する関係で、参加者報告を提出いただきます。参加者は別紙にてメールにより、11月11日(金)までにご報告いただきますようお願いいたします。

農業者年金 加入推進ニュース



一般社団法人 長野県農業会議
令和4年11月15日<No.8>

☆「農業者年金加入推進強化月間（11月～翌年2月）」がスタートしました♪

11月から翌年2月までの「農業者年金加入推進強化月間」において、一層の加入推進を強化するため、去る10月24日の上田支部を皮切りに12月9日までの間、「支部別農業者年金加入推進会議」を開催しています。

会議では、本年度の取組方針について確認するとともに、各農業委員会における加入活動の進捗状況と今後の取組について情報共有しています。

一人でも多くの加入対象者が「加入推進名簿」に記載され、戸別訪問等を通して新規加入に繋がっていくように「記録簿」の活用をお願いいたします。

【今年度の重点取組】

- ① 「加入推進名簿」の整備・活用と「加入推進状況」の記録の徹底
- ② 「農業者年金制度」の周知活動（特に令和4年の制度改正内容を含む）

【農業委員会の取組状況】

- ❖ 広報誌へ年金メリット等を掲載、年金チラシの配付、コロナ禍における畑での声掛け。
- ❖ 認定新規就農者や認定農業者に対する研修会に併せて、年金チラシを配付して説明。
- ❖ 制度の概要について、加入推進部長・農業委員・農地利用最適化推進委員の勉強会を開催。

【10月の新規加入実績】

中野市において1人の新規加入者を確保いただきました。
コロナ禍にあつて、加入推進にご尽力をいただき誠にありがとうございました。
これにより、令和4年度における新規加入者は、県全体で55人(目標達成率35%)となりました(次頁に掲載)。

☆「農業者年金パンフレット（長野県版）」をご活用願います！

年金の仕組みとメリットを紹介した「農業者年金パンフレット」を作成いたしましたので、研修会や制度の周知活動などに幅広くご活用ください。（11月16日の県大会で配付予定）

☆インフォメーション

- ❖ 11月30日（水）に「農業者年金加入推進セミナー」が、別添のとおり東京会場およびオンライン配信（Youtube ライブ）の併用方式により開催されます。

なお、参加できなかった方に視聴いただけますよう、次のURLで後日視聴も可能です。

【配信URL】 <https://youtu.be/qfxp0tQQ5qg>

- ❖ 「令和4年度加入推進活動（10月末現在の実施状況）管理表」 11月18日が提出期限
- ❖ 「現況届差止者一覧表」が送付された農業委員会は、確認と提出の指導をお願いいたします。

農業者年金の新規加入推進活動の取組状況

(令和4年10月末日現在)

市町村名	令和4年度目標数			新規加入者数			目標達成状況		
	全体	うち 20～ 39歳	うち 女性	全体	うち 20～ 39歳	うち 女性	全体	うち 20～ 39歳	うち 女性
小諸市	3	2	1						
佐久市	5	4	1						
小海町	1	1		1	1		○	○	
佐久穂町	1	1		3		1	○		
川上村	9	9	4						
南牧村	4	4	2						
南相木村	1			1	1		○		
北相木村	1								
軽井沢町	1								
御代田町	2	1	1						
立科町	1	1							
佐久計	29	23	9	5	2	1	3	1	0
上田市	4	4	1						
東御市	2	2	1						
長和町	1			1	1		○		
青木村	1								
上田計	8	6	2	1	1	0	1	0	0
岡谷市	1								
諏訪市	1								
茅野市	2	1	1						
下諏訪町	1								
富士見町	1	1		2		1	○		
原村	2	2	1	1	1				
諏訪計	8	4	2	3	1	1	1	0	0
伊那市	3	2	1						
駒ヶ根市	1	1		2	1		○	○	
辰野町	1								
箕輪町	1	1							
飯島町	1	1		1	1		○	○	
南箕輪村	1	1							
中川村	1								
宮田村	1								
上伊那計	10	6	1	3	2	0	2	2	0
飯田市	6	5	2	3	2	1			
松川町	3	2	1	1	1				
高森町	2	1	1						
阿南町	1								
阿智村	1								
平谷村	1								
根羽村	1								
下條村	1			1	1		○		
売木村	1								
天龍村	1								
泰阜村	1								
喬木村	1			1		1	○		
豊丘村	1	1							
大鹿村	1								
南信州計	22	9	4	6	4	2	2	0	0

市町村名	令和4年度目標数			新規加入者数			目標達成状況		
	全体	うち 20～ 39歳	うち 女性	全体	うち 20～ 39歳	うち 女性	全体	うち 20～ 39歳	うち 女性
上松町	1								
南木曾町	1								
木曾町	1								
木祖村	1								
王滝村	1								
大桑村	1								
木曾計	6	0	0	0	0	0	0	0	0
松本市	11	8	4						
塩尻市	4	3	1	3					
安曇野市	5	4	2	3	2	1			
麻績村	1								
生坂村	1								
山形村	2	2	1	2	2		○	○	
朝日村	1	1	1	2		1	○		○
筑北村	1								
松本計	26	18	9	10	4	2	2	1	1
大町市	1	1							
池田町	1	1							
松川村	1	1							
白馬村	1								
小谷村	1								
北77ノ7ノス計	5	3	0	0	0	0	0	0	0
長野市	9	5	4	3					
須坂市	4	3	2	6	4	1	○	○	
千曲市	2	1	1	2	1		○	○	
坂城町	1			1	1		○		
小布施町	3	1	1						
高山村	1	1							
信濃町	1	1							
飯綱町	2	1	1	1					
小川村	1								
長野計	24	13	9	13	6	1	3	2	0
中野市	9	6	3	6	3	1			
飯山市	2	1	1	1					
山ノ内町	4	3	2	7	3	4	○	○	○
木島平村	1	1							
野沢温泉村	1								
栄村	1								
北信計	18	11	6	14	6	5	1	1	1
県計	156	93	42	55	26	12	15	7	2

35%

19%

は、令和4年度目標数を達成した市町村。

令和4年度農業者年金加入推進セミナー 開催要領

令和4年9月22日
全国農業者年金連絡協議会
一般社団法人全国農業会議所

1. 趣 旨

農業者年金の加入推進については、制度創設時から農業委員会系統組織で推進に取り組み、平成14年度に新制度へ移行した後も、農業者年金基金、全国農業協同組合中央会、全国農業者年金受給者協議会などと連携し、加入推進を進めてきた。

平成30年度から新たに始まった第4期中期目標期間（平成30年度～令和4年度）では、農業者の老後生活の安定を図るという制度本来の目的を踏まえ、20歳から39歳の基幹的農業従事者に対する被保険者の割合を25%、女性農業者は、20歳から59歳までの基幹的農業従事者（女性）に対する被保険者割合を17%に拡大する目標が設定された。

この目標を達成するため、前期3カ年（平成30年度から令和2年度）は「加入者累計13万人早期達成3カ年運動」、後期2カ年（令和3年度、4年度）は「加入者累計13万人早期突破及び中期目標達成2カ年運動」のもとで、毎年、20歳から39歳までの農業者2,800人、女性農業者1,300人、全体で3,800人の新規加入者数を目指して加入推進活動に取り組んできた。

その結果、令和3年7月末には、加入者累計が130,157人となり、スローガンに掲げた目標を達成したが、第4期中期目標で示されたそれぞれの被保険者数の割合については、目標水準に達していない。

こうした状況を踏まえ、本年度が第4期中期目標期間の最終年度となることを念頭に、「加入者累計15万人早期達成に向けた加入推進強化運動」を新たなスローガンに掲げ、農業者年金受給者組織、農業委員会組織、農業協同組合系統組織など全国の農業者年金関係者による加入推進の奮起と全国農業者年金連絡協議会会員相互の意思結集を図るため、本セミナーを開催する。

2. 主 催

全国農業者年金連絡協議会
一般社団法人全国農業会議所

3. 参加者

全国農業者年金連絡協議会会員
市町村農業委員会及び都道府県農業会議役職員
農業協同組合及び都道府県農業協同組合中央会役職員 等

4. 開催日時

令和4年11月30日(水)

5. セミナー形式

会場来場およびオンライン配信 (Youtube ライブ) の併用方式

<会場来場で参加の場合>

会場：銀座ブロッサム中央会館

住所：〒104-0061 東京都中央区銀座2-15-6

電話番号：03-3542-8585 (代)

※ 新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては来場の取りやめや人数調整をお願いする可能性もございます。

<オンライン配信 (Youtube ライブ) で参加の場合>

配信 URL は下記のとおり。セミナー資料は都道府県農業会議ご担当者様のメールアドレスへ11/28までに送付します。その後、都道府県農業会議ご担当者様より管内のWEB参加希望者へのご案内をお願いします。

【配信 URL】

<https://youtu.be/qfxp0tQQ5qg>

※ 本 URL で後日視聴も可能です。

6. 内容

- (1) 開会 (13:00)
- (2) 主催者挨拶 (13:00~13:05)
全国農業者年金連絡協議会 世話人代表 國井 正幸
- (3) 来賓挨拶 (13:05~13:10)
農林水産省経営局長 村井 正親 氏
- (4) 研修① (13:10~14:10)
講師：大戸孝男税理士事務所
税理士 大戸 孝男 氏
演題：農業者の節税方法と老後資金を確保していくために (仮)
- (5) 研修② (14:20~15:20)
講師：独立行政法人 農業者年金基金
理事長 西 恵正 氏
演題：農業者年金制度と加入推進
- (6) 加入推進に関する活動事例報告 (15:20~16:00)
(活動事例報告委員会)
 - ・栃木県真岡市農業委員会 加入推進部長 田村 利信 氏
 - ・岐阜県下呂市農業委員会 加入推進部長 熊崎 みどり 氏
- (7) 農業者年金の加入推進に向けた申し合わせ決議 (16:00~16:05)
- (8) 閉会 (16:05)

7. 後日視聴について (動画配信)

当日ご参加いただけなかった方もご視聴いただけるよう、セミナー終了後、下記のとおりインターネット上でも配信いたします。
都道府県農業会議ご担当者様より視聴希望者へのご案内をお願いします。

- (1) URL
5に記載のとおり
- (2) 公開日時
令和5年3月31日まで (予定)